

政策 03 快適な生活を支えるまちづくり

施策 04 衛生的で快適な下水道の整備

あるべき姿

施策がめざす尾張旭市の姿
下水道が整備され、衛生的で快適なまちになっています。

施策の成果状況と評価

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	下水道普及率 (%)	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対基準値
		【下水道課】	76.6	84.6	86.8	83
評価	(状況) 前年度の実績値に比べ、現状値が2.2ポイント増加した。 (原因) 計画的な下水道面整備の実施によって、供用開始区域を広げたことに因るものである。					対前年度
						☀️ (向上)

指標	水洗化率 (%)	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対基準値
		【下水道課】	91.1	90.0	90.0	94
評価	(状況) 前年度の実績値に比べ、現状値は増減が無かった。 (原因) 下水道面整備の推進で、公共下水道利用人口は増加しているが供用開始区域(人口)も増加していることが要因である。					対前年度
						☁️ (横ばい)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 汚水管の整備促進

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	下水道総整備面積 (ha) 【下水道課】	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対基準値
		886.7	972.6	1,005.6	1,015	☀️ (向上)
評価	(状況) 前年度の実績値に比べ、現状値が33.0ha増加した。 (原因) これは計画的な面整備の実績によって、供用開始区域を広げたことによるものである。					対前年度 ☀️ (向上)
						(---)

基本事業02 処理施設の整備と維持管理

指標	処理後の水質が計画放流水質基準を超えた日数 (日) 【浄化センター】	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対基準値
		4	0	1	0	☀️ (向上)
評価	(状況) 前年度の実績値0に比べ、実績値 (R4) が1ポイント増加した。 (原因) 電気料高騰により節電運転を試行錯誤するなかで、一時的に水質が不安定になったため。					対前年度 ☔️ (低下)
						(---)

基本事業02 処理施設の整備と維持管理

指標	処理施設の維持管理不具合件数 (件) 【浄化センター】	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対基準値
		0	0	0	0	☀️ (向上)
評価	前年度と同様、最良の結果で不具合件数0を維持出来た。					対前年度 ☀️ (向上)
						(達成)

基本事業03 管渠施設の維持管理

指標	管渠・マンホールの保守点検箇所数 (箇所) 【下水道課】	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対基準値
		1,141	1,224	1,178	1,000	☀️ (向上)
評価	(状況) 毎年、目標値である1,000箇所以上のマンホール点検を実施することができている。点検による不具合箇所を発見した場合は、迅速な処理を施すことにより適切な維持管理ができている。					対前年度 ☁️ (横ばい)
						(達成)

基本事業03 管渠施設の維持管理

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	管渠（きよ）補修箇所数（単年度）（箇所）	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【下水道課】	108	54	40	100	
評価	(状況) 実績値は目標値の約4割となった。 (原因) 令和5年度までの計画であった緑・長坂地区の補修事業が、令和2年度までで完了したことが要因である。					対 前年度 目標 達成度 (達成)
		(比較不可)	(比較不可)	目 標 達成度 (達成)		

基本事業04 水洗化の普及促進

指標	水洗化人口（人）	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【下水道課】	58,269	63,859	65,460	66,800	☀️ (向上)
評価	(状況) 前年度の実績値に比べ、現状値が1,601人増加した。 (原因) 計画的な下水道面整備の実施によって、供用開始区域を広げてきたことに因るものである。					対 前年度 目標 達成度 (---)
		(比較不可)	目 標 達成度 (---)			

基本事業05 持続可能な下水道経営の推進

指標	総収支比率（％）	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【経営政策課】	101.0	104.94	98.7	100以上	☔️ (低下)
評価	(状況) 令和4年度の総収支比率は98.7％で、目標の100％を下回り、約6ポイント低下した。 (原因) 下水道使用料が微増に留まったこと及び一般会計からの繰入金が増加したことによる総収益の減少、また物価高騰の影響を受けた処理場管理費の増加による総費用の増加のため。					対 前年度 目標 達成度 (---)
		(比較不可)	目 標 達成度 (---)			

基本事業05 持続可能な下水道経営の推進

指標	一般会計からの基準外繰入金（収益的収支）（％）	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【経営政策課】	9.9	5.5	7.9	10以下	☀️ (向上)
評価	(状況) 令和4年度の収益的収入に占める基準外繰入金の割合は7.9％で、目標値の10％以下ではあるものの、前年度から2.4ポイント増加した。 (原因) 一般会計からの繰入金のうち、基準内繰入金の算定方法を一部見直したことにより、基準内が減少し、その分基準外の額が増加したため。					対 前年度 目標 達成度 (達成)
		(比較不可)	目 標 達成度 (達成)			